

2021年1月19日

超高齢社会における金融機関の役割について

～金融ジェロントロジーの時代～

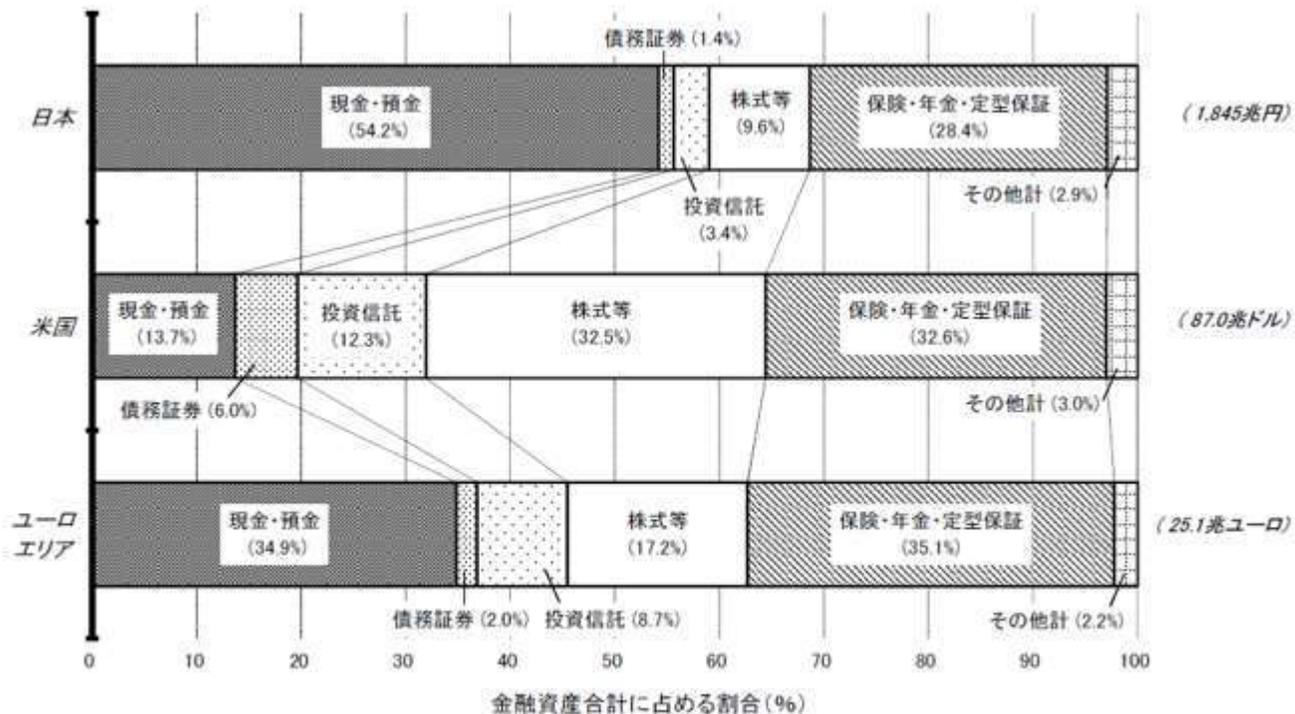
三菱UFJ信託銀行株式会社
執行役員 石崎 浩二

1. 高齢者を取り巻く金融環境

1-1-① 日本の金融資産の特徴

➤ 日本の現金比率は54.2%と高く、投資信託・株式等の保有は13.0%と少ない

日米欧の2020年家計の金融資産構成比較



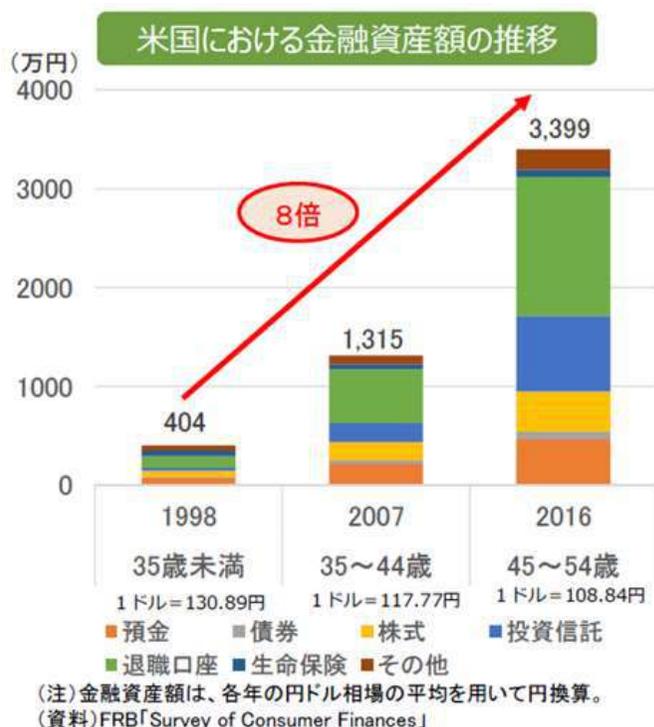
*「その他計」は、金融資産合計から、「現金・預金」、「債務証券」、「投資信託」、「株式等」、「保険・年金・定型保証」を控除した残差。

出典：「資金循環の日米欧比較(2020年8月21日)」日本銀行調査統計局

1-1-② 日本の金融資産の特徴

➤ 日本の金融資産は、米国と比べると、増えていない

日米の金融資産額の推移

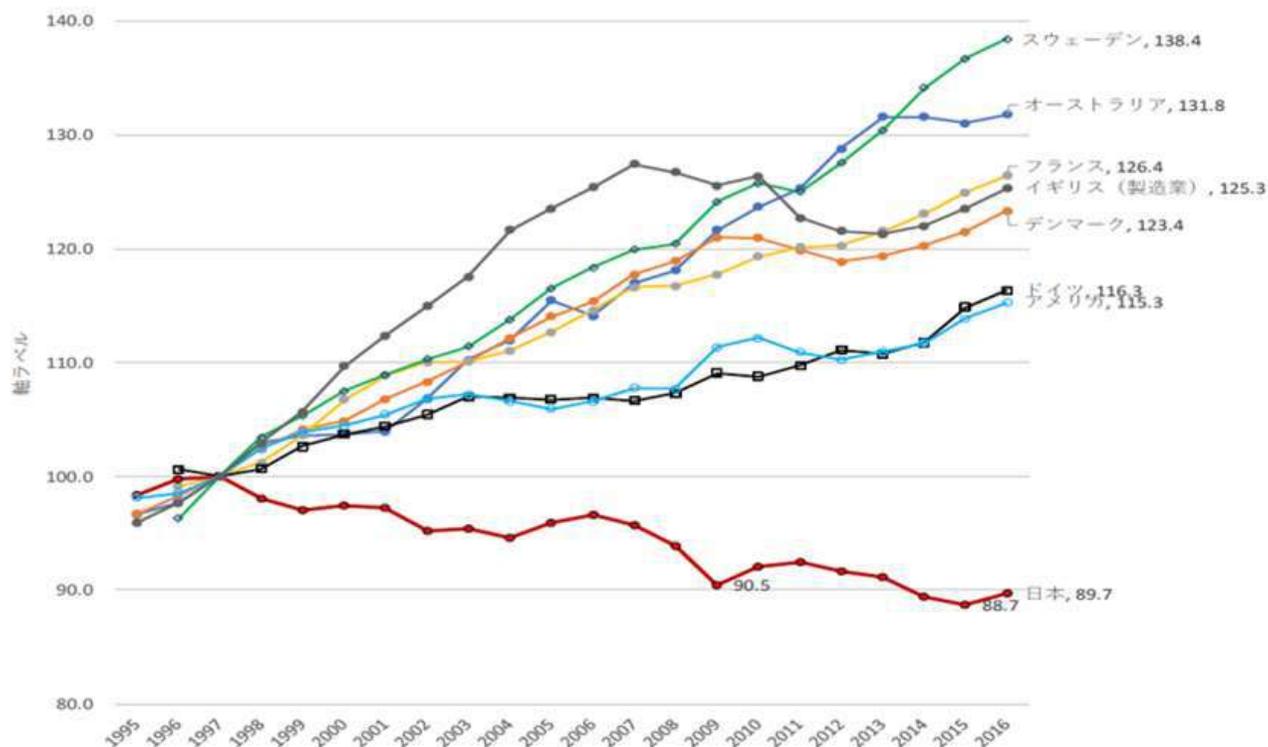


出典：「人生100年時代における資産形成(2019年4月12日)」金融審議会市場ワーキング・グループ事務局説明資料

1-1-③ 日本の金融資産の特徴

- 一般層の資産形成が進まないのは、リスク回避志向もあるが、
低賃金のため余裕資金がないことの影響が大きい

実質賃金指数の推移の国際比較(1997年 = 100)



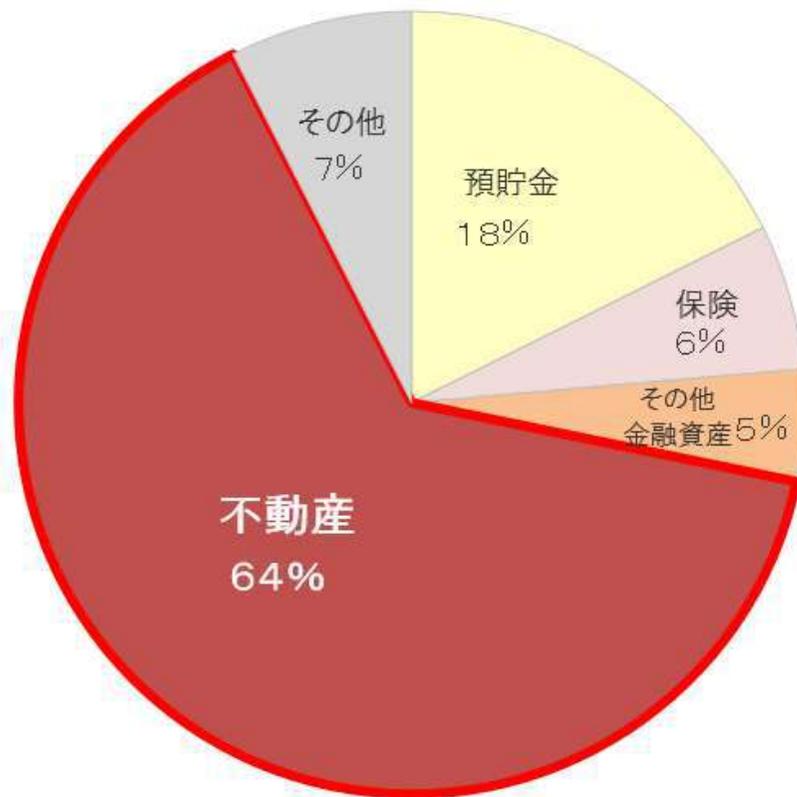
出典: oecd.statより全労連が作成(日本のデータは毎月勤労統計調査によるもの)。
注: 民間産業の時間当たり賃金(一時金・時間外手当含む)を消費者物価指数でデフレートした。オーストラリアは2013年以降、第2・四半期と第4・四半期のデータの単純平均値。仏と独の2016年データは第1~第3・四半期の単純平均値。英は製造業のデータのみ。

出典: 全国労働組合総連合資料(2018年2月21日)

1-1-④ 日本の金融資産の特徴

- 富裕層は有価証券を多く持っているが、一般層の資産は不動産(自宅)に傾斜している

日本の60代の資産構成

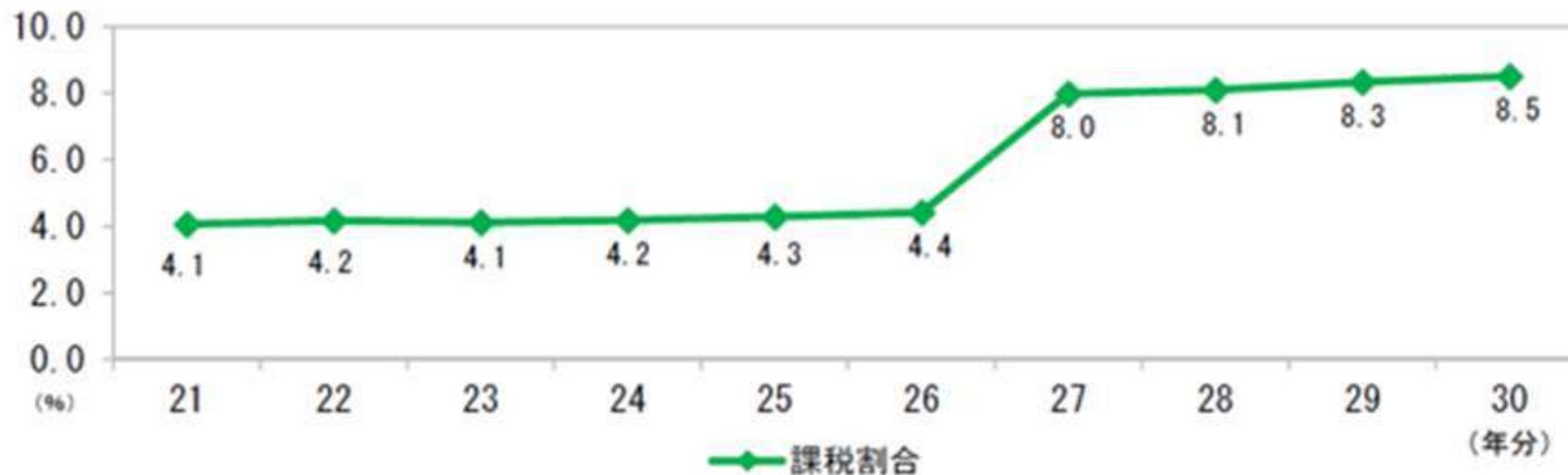


出典：総務省「平成26年全国消費実態調査」より加工

1-2-① 大相続時代

➤ 相続税法の改正により、都内に自宅を持っている人は相続税を払う可能性がある

相続税の課税割合[課税件数／死亡者数]

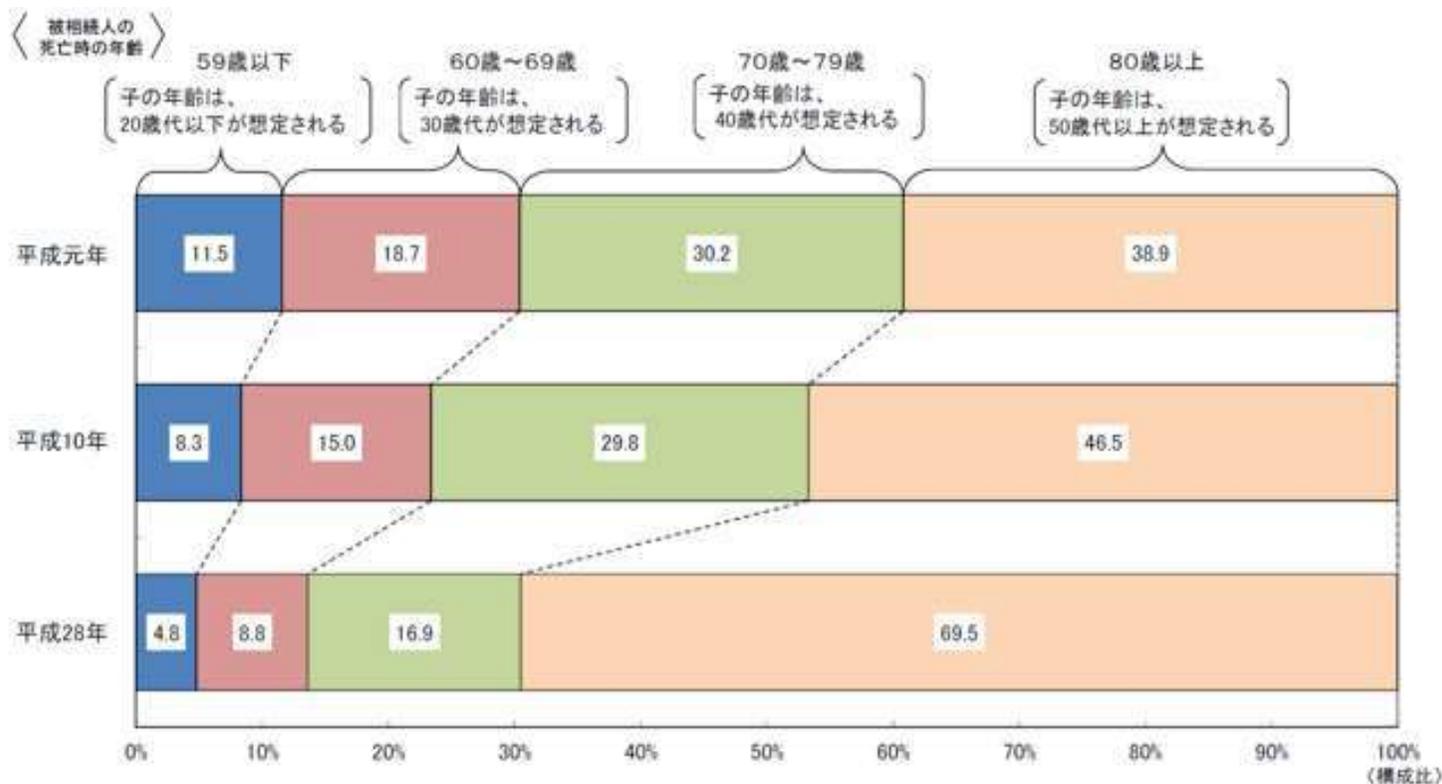


出典：「平成30年分 相続税の申告事績の概要(2019年12月)」国税庁

1-2-② 大相続時代

➤ 長寿化により**老老相続**となり、若い世代への資産移転が進まない

相続税の申告からみた被相続人の年齢構成比



出典：第18回税制調査会(2018年10月17日)財務省説明資料

1-2-③ 大相続時代

➤ 不動産の割合の多い一般層の方が、相続で揉めやすい → 争続



出典：司法統計平成28年度「遺産分割事件のうち認容・調停成立件数-遺産の内容別遺産の価格別-全家庭裁判所」より加工

1-2-④ 大相続時代

➤ 日本の遺言作成率は低く、一般層には浸透していない

遺言作成率

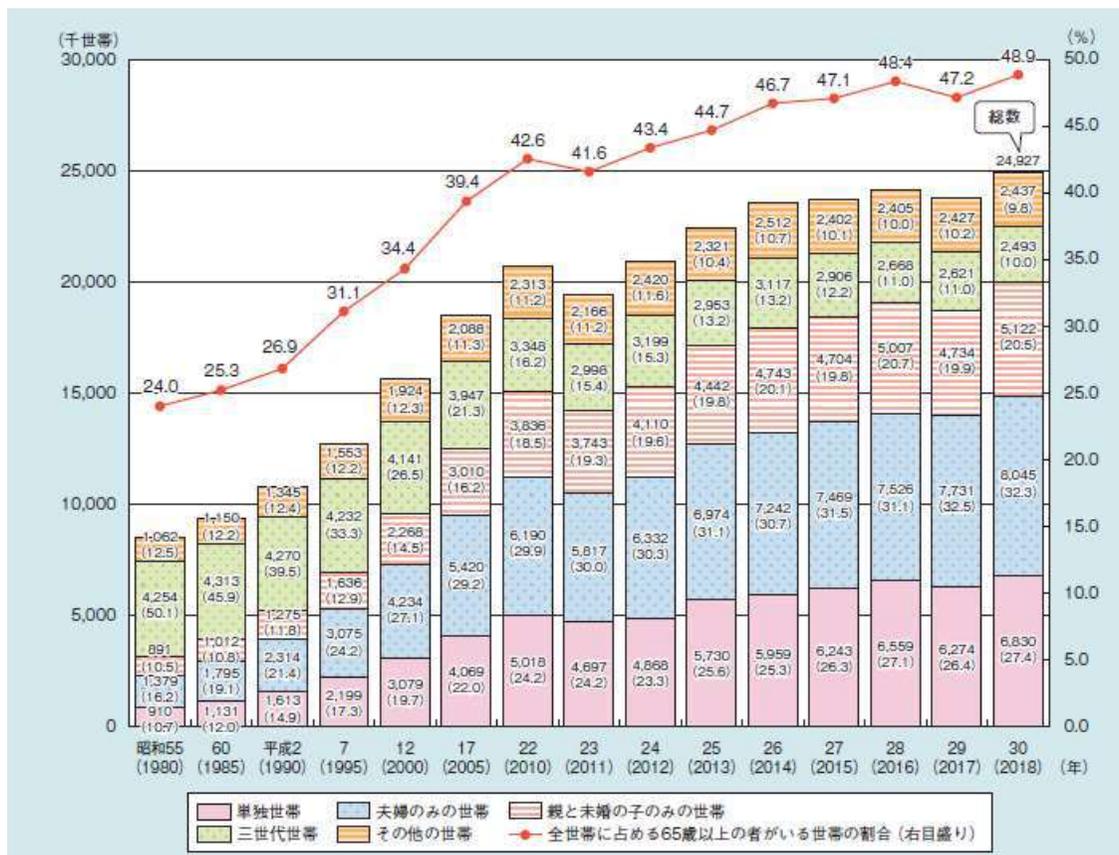
年代	公正証書	自筆証書
55～59歳	2.5%	1.6%
60～64歳	2.4%	2.6%
65～69歳	2.7%	3.6%
70～74歳	3.0%	4.5%
75歳以上	5.0%	6.4%
全体	3.1%	3.7%

出典：平成29年度法務省調査「我が国における自筆証書による遺言に係る遺言書の作成・保管等に関するニーズ調査・分析業務報告書」より加工

1-3-① 多様化する家族形態とライフスタイル

- 65歳以上の高齢者がいる世帯は49%
- 三世代世帯は減少、単独世帯、夫婦のみ世帯が増加

高齢者のいる世帯数及び構成割合

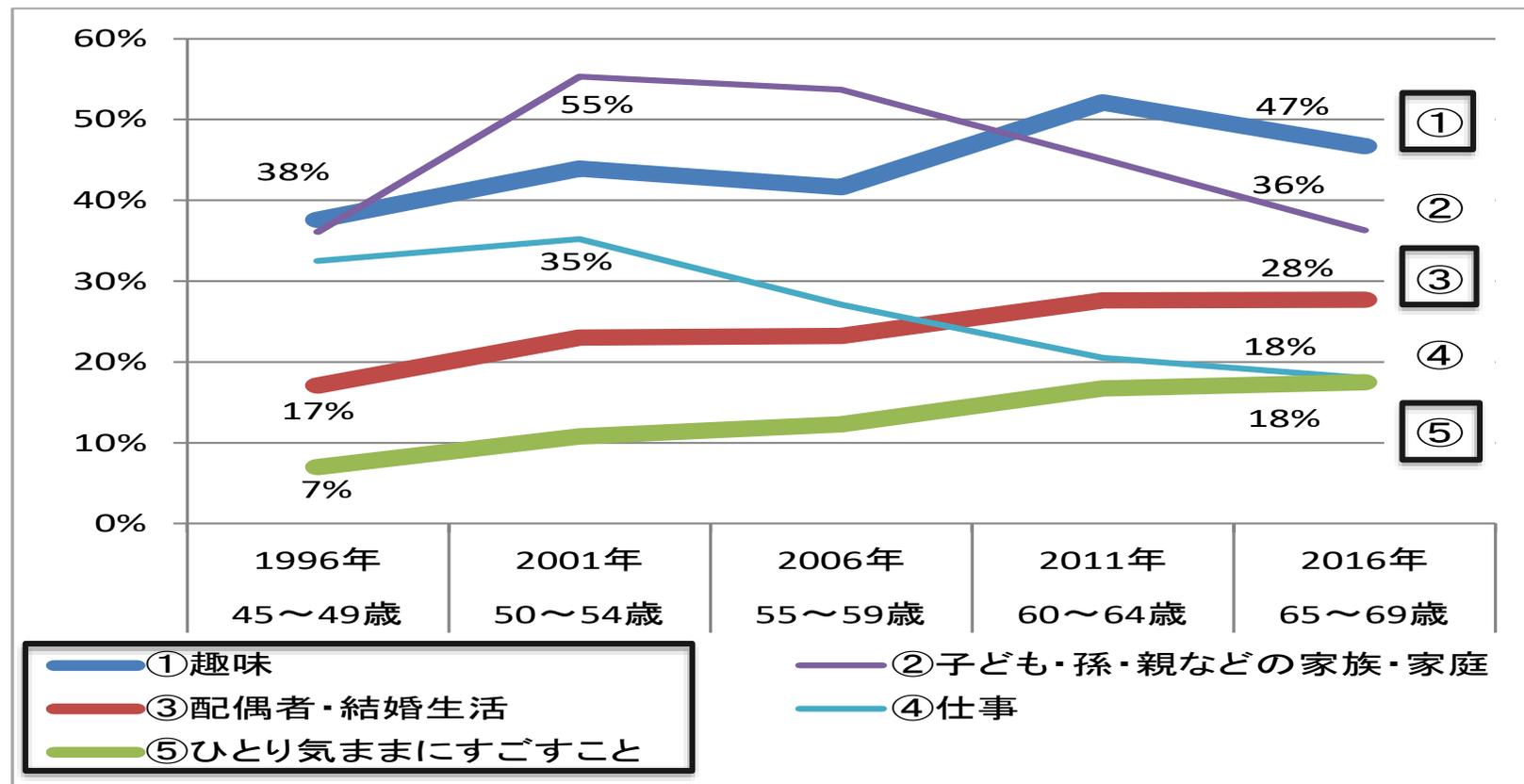


出典：「令和2年版高齢社会白書」内閣府

1-3-② 多様化する家族形態とライフスタイル

➤ 高齢者の生きがいは、「②家族・家庭」「④仕事」から「①③⑤自分と配偶者」へ

団塊の世代の生きがいの時系列変化



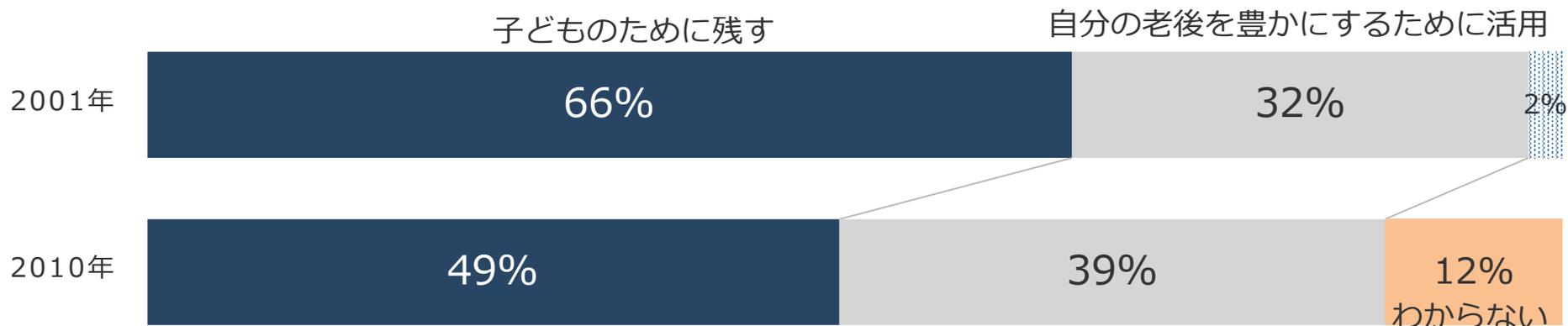
出典：三菱UFJ信託銀行 年金コンサルティング部

2017年5月『サラリーマンの生活と生きがいの変化（団塊の世代を追って）』

1-3-③ 多様化する家族形態とライフスタイル

- 自宅を子供に残したいと考えている高齢者の割合は49%に減少、老後を豊かにするために活用したい人は39%へ増加。わからない人も12%
- 自宅を担保に、老後を楽しむお金や施設入居金等を確保できるリバースモーゲージの認知度は21%と低い

【図表①】 土地、家屋などの使い方に関する意識の変化



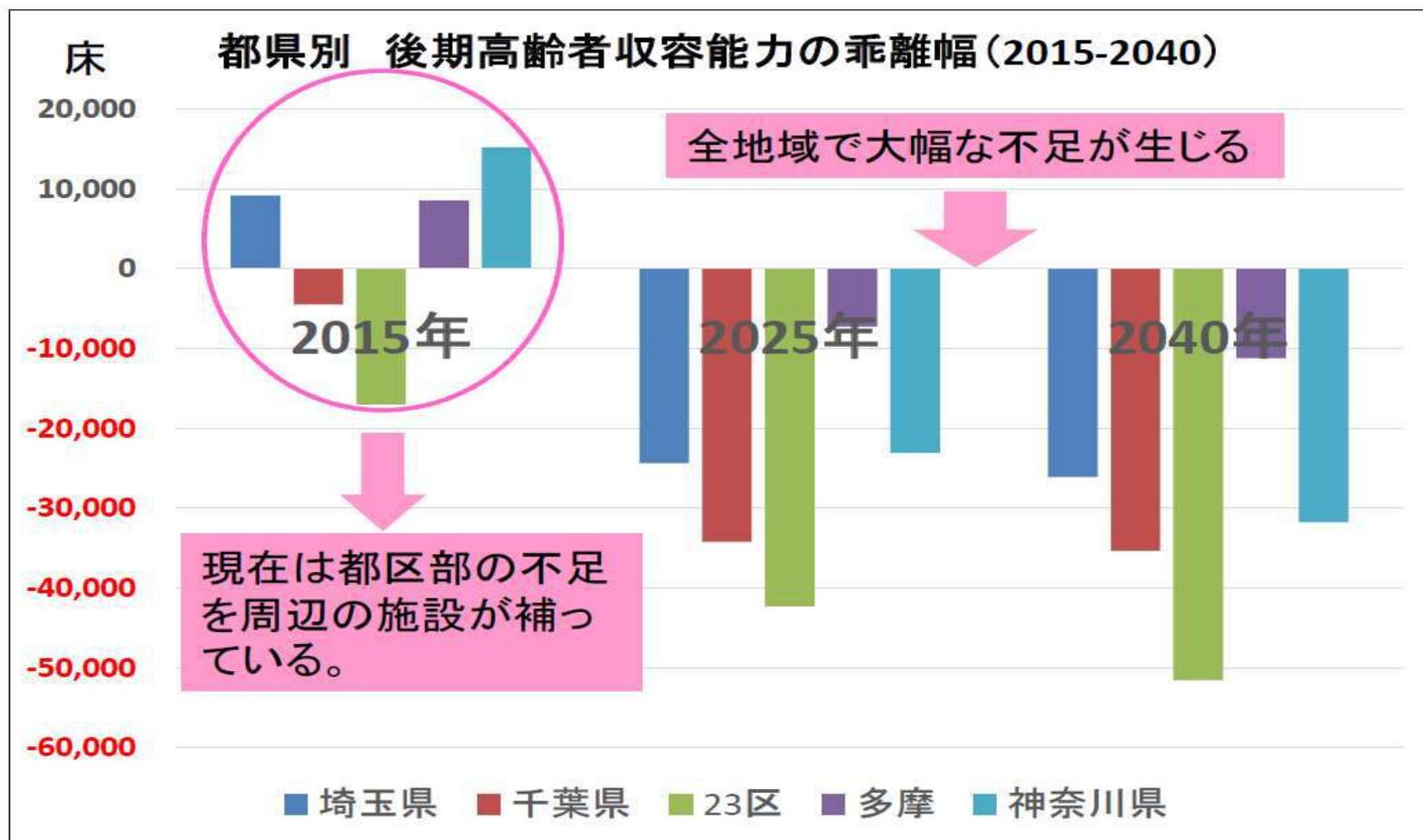
【図表②】 リバースモーゲージの認知度



出典：内閣府「高齢者の住宅と生活環境に関する意識調査」（2010年度）から抜粋

1-3-④ 多様化する家族形態とライフスタイル

➤ 老人ホームは東京23区では既に不足。今後、近県も不足する。



出典：日本創生会議首都圏問題検討分科会資料

1-3-⑤ 多様化する家族形態とライフスタイル

- 就労形態の変化が、家族形態や価値観の変化へ連鎖
- 長寿化による意識の変化もライフスタイルへ影響

< 4つのモデルケース >

現在の世帯形態 (定義) ※	割合 ※	家族構成のパターン	モデルケース
単独世帯 (世帯員が一人)	27%	生涯独身	A 生涯独身
		本人(配偶者死亡) + 子供(非同居)	
		本人(配偶者死亡)、子供なし	
夫婦のみ世帯 (世帯主と配偶者のみ)	31%	夫婦 + 子供(非同居)	B 夫婦のみ
		夫婦のみ、子供なし	
親と未婚の子のみ世帯 (夫婦orひとり親と未婚の子のみ)	21%	夫婦 + 子供(同居)	C 夫婦 + 子供(非同居)
		夫婦 + 子供(同居) + 子供(非同居)	
		本人(配偶者死亡) + 子供(同居)	
三世帯世帯 (直系三世帯以上の世帯)	11%	夫婦 + 子供(同居) (+孫)	D 夫婦 + 子供(同居)
		夫婦 + 子供(同居) + 子供(非同居)	
その他世帯 (上記以外)	10%	兄弟姉妹のみ等	

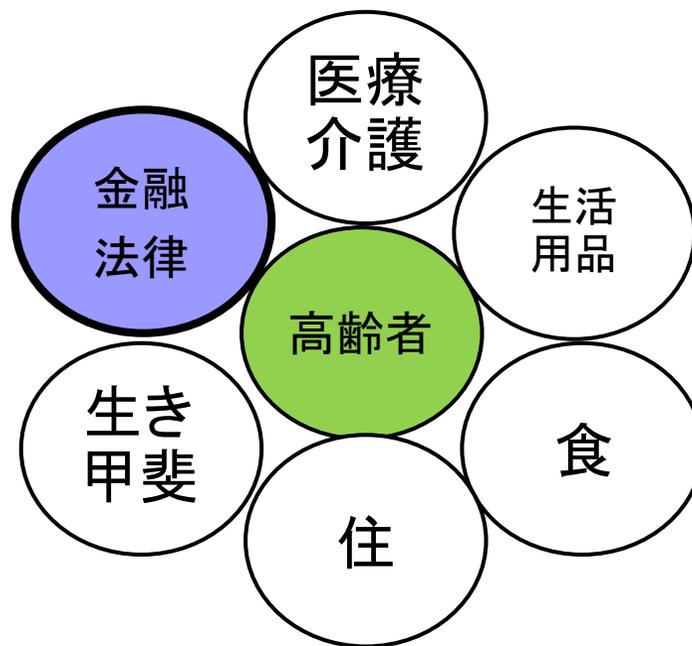
※平成29年版高齢社会白書 65歳以上の者のいる世帯数及び構成割合(世帯構造別)より

2. 金融ジェロントロジー

2-1-① 高齢者の経済行動の特性

- 金融ジェロントロジーとは、
加齢に伴う認知機能の低下が、経済活動や金融行動にどのような影響を与えるかを
分析し、
高齢者が自分自身の望む形で、資産を活用できる仕組みやサービスを研究する学問
- 健康寿命の伸長 → 資産寿命の伸長

高齢者の6つのニーズ



2-1-② 高齢者の経済行動の特性

1

明快な説明と
シンプルな選択肢を好む
(多数の選択肢から選べない)

2

持っているものを
手放したくない
(保有効果)

3

ポジティブなことを記憶するが、
ネガティブなことは忘れてしまう

4

過剰な表現に
意思決定が影響されやすい

明快な説明とシンプルな選択肢を好む

(多数の選択肢から選べない)

× **家電量販店**



○ **通販**

他機種のカ陳列

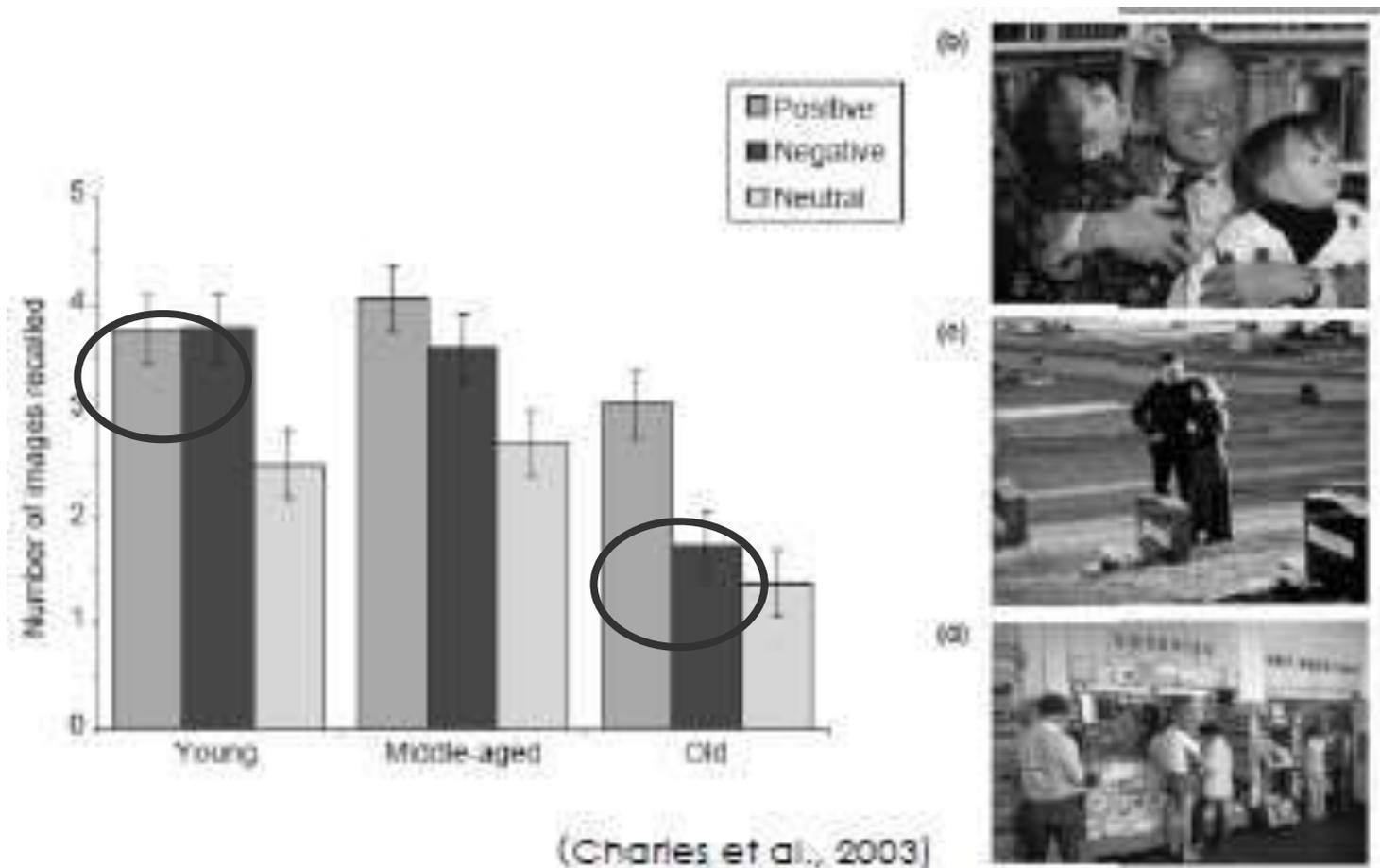
1機種のカ推奨

持っているものを手放したくない（保有効果）

運用商品の損切りができない

高台の家から駅前マンションへ住替えたくない

ポジティブなことを記憶するが、ネガティブなことは忘れてしまう



出典：エッセンシャル金融ジェロントロジー第6章 慶應義塾大学理工学部 高山緑教授作成

過剰な表現に、意思決定が影響されやすい

健康器具、サプリメント

「1カ月で10kg痩せる」「糖尿病が治った」

投資商品

「年率20%の不動産収益物件」

「高齢者でも入れる医療保険」

2-1-⑦ 高齢者の経済行動の特性

➤ 金融取引における認知機能が疑われる事例は増えている

- ✓ 通帳や印鑑を失くしたと、頻繁に問い合わせしてくる(87歳女性)
- ✓ 現金を1回しか預けていないが、3回預けたと主張する(88歳女性)
- ✓ 申込書類の署名時に「何だったかな?」と言ってペンが止まる(80歳男性)
- ✓ 高価な買物の都度、頻繁に投資信託を解約する(83歳女性)
- ✓ 亡くなった配偶者が生きていると勘違いしている(87歳女性)
- ✓ 突然口調が攻撃的になる(91歳女性)
- ✓ 家族の名前を頻繁に間違える(87歳女性)
- ✓ 遺言作成の面談において、財産配分の内容を忘れてしまう(79歳男性)

出典：三菱UFJ信託銀行での事例

2-2-① 顧客本位の金融

- 病院に行けない高齢者の変化に気づき、家族や地域につなぐ



病院に行ける高齢者
(現状に問題意識がある人)

「私は大丈夫」

病院に行けない高齢者

高齢者の変化 (問題点) に気づき、
家族、専門家、地域につなぐ

金融機関の使命

2-2-② 顧客本位の金融

	日常の金融サービス & 事務手続	高度な財産管理 (資産寿命の延伸)
<p><u>認知・判断能力の低下</u> に備え気をつけたい事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 取引関係シンプル化 (利用していない口座の解約等) ◆ 使い過ぎ防止 (ATM引出上限金額の設定等) ◆ 周囲に頼る (重要な契約・取引時に相談) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「長期・分散・積立」できる 資産運用の検討・実行 (専門家に相談)
<p><u>認知・判断能力の喪失</u> に備え、予め準備しておきたい事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ あらかじめ決めておく (遺言・任意後見の活用等) ◆ 保有資産の見える化 (財産一覧の作成等) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 喪失後の運用方針をあらかじめ決めておき、見える化 (任意後見等の準備)

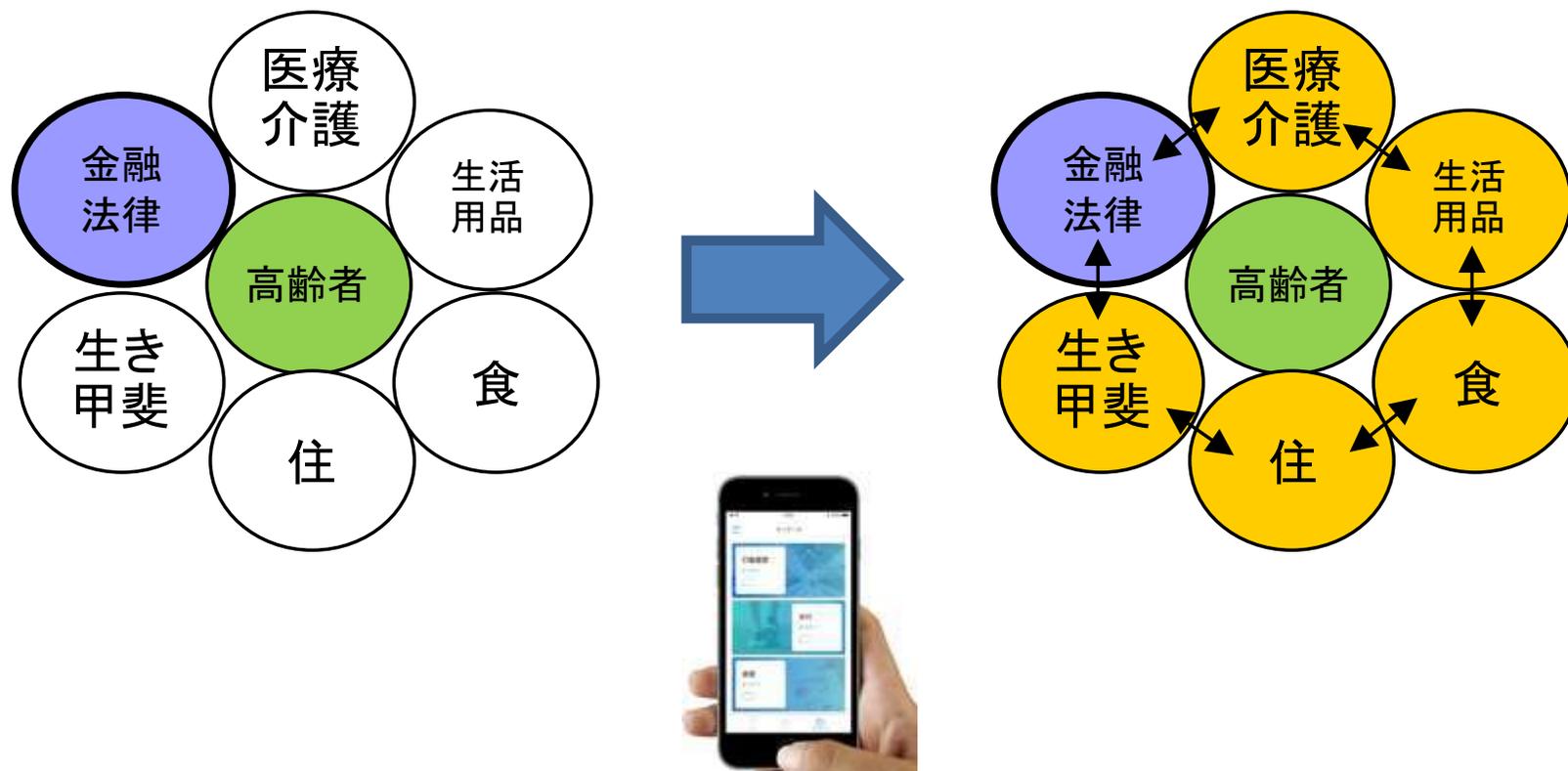
出典：金融審議会「市場ワーキング・グループ」(第20回) 駒村委員、成本教授、野村委員提出資料を三菱UFJ信託銀行にて一部加工

2-2-③ 顧客本位の金融

	相続型信託 「ずっと安心信託」	解約制限付信託 「みらいのまもり」	代理出金機能付信託 「つかえて安心」	リバースモーゲージ信託 「ゆとりの約束」	特典付き 有料老人ホーム信託
ロゴ・ イメージ					
発売日	2012年3月	2016年6月	2019年3月	2019年12月	2020年1月
特徴	ご自身が希望された 時期から計画的に 資金を受け取れる 商品	ご自身でさえ簡単には 解約できない 厳重に資金を守る 商品	大切な資金をご家族 と一緒に守りながら 便利に使える商品	自宅に住み続け ながら老後の資金を 準備できる商品	長期安定的な 収入を得ながら 将来の施設入居に 備えられる商品
認知機 能低下 に対する 効果	<ul style="list-style-type: none"> • 使いすぎないように 毎月一定金額を 指定口座に振り込む 	<ul style="list-style-type: none"> • 本人だけでは引出し できない • 家族と当社が解約 理由を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> • 家族が代わりに 引出しできる • 出金状況を他の 家族が確認できる (見える化) 	<ul style="list-style-type: none"> • 元気なうちは元本と 利息の返済不要 • 相続発生時も家族 に返済は求めない 	<ul style="list-style-type: none"> • 弊社が物件管理を するため管理負担が ない • 施設入居に関する 特典がある

2-3-① 生態系の構築

- 金融サービスだけでは不十分、業界、そして業態を超えた生態系が必要
- キャッシュレス普及などフィンテックによる利便性の向上
- IT難民にはセーフティネットも必要



2-3-② 生態系の構築



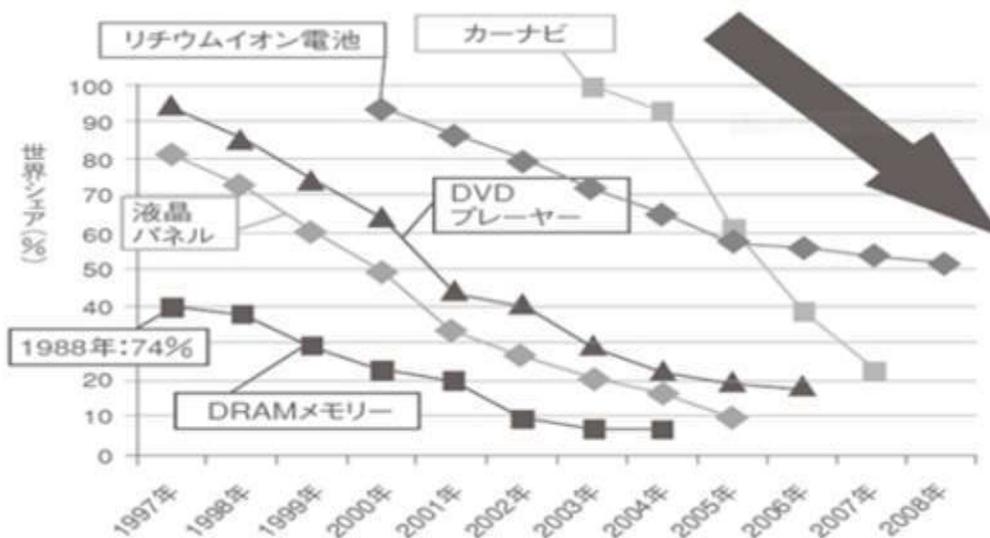
DVDプレーヤー



カーナビ



リチウムイオン電池



出典：小川紘一「プロダクト・イノベーションからビジネス・イノベーションへ」(IAM Discussion Paper Series#001(2008))

長生きする人が貴重な時代1992年



年金暮らしの元気なムカつく老人2025年
さんざん遊んだくせに・・・席を譲れだと・・・



アジア、欧米、アフリカ・・・長老をリスペクトしない民族はいない
歴史から学ばない民族は滅びる

2-3-④ 生態系の構築

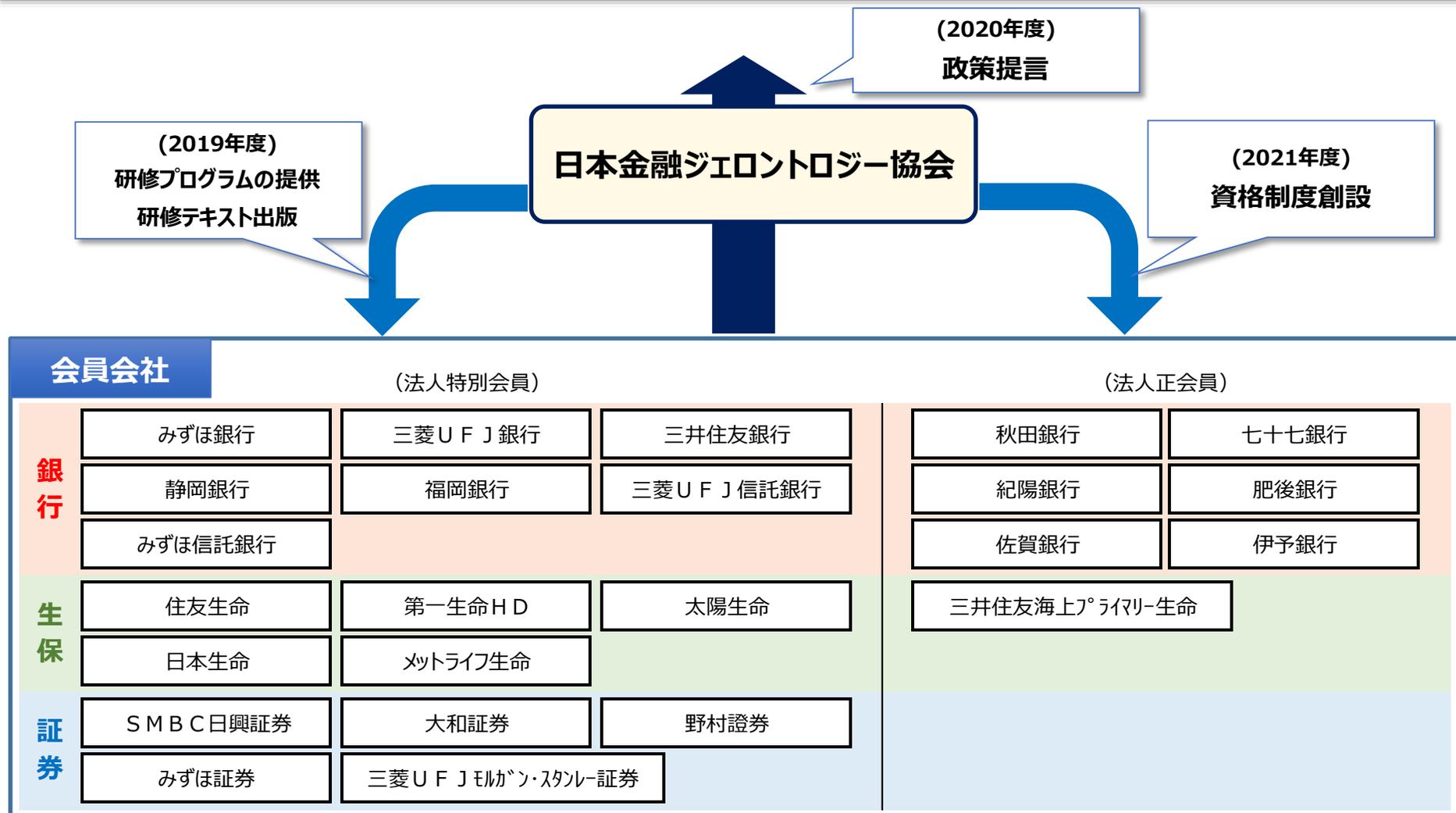
➤ 一般社団法人を設立し、日本全体の取り組みとして、金融の担い手を育成



出典：金融審議会「市場ワーキング・グループ」（第15回） 駒村委員提出資料を三菱UFJ信託銀行にて一部加工

2-3-⑤ 生態系の構築

- 昨年度は研修テキスト出版や研修プログラム等を提供
- 今年度は政策提言や、来年度の資格制度創設を目指し活動中



ありがとうございました

GIFT for JAPAN.com

Personal GIFT for JAPAN

**GIFTS
MAKE
NEW JAPAN**

